



Uターン 青木崇晃さん

北設楽郡東栄町を拠点とする邦楽集団「志多ら」に12年間在籍し、2019年に独立して地元の豊松町にUターンしたプロ和太鼓奏者の青木崇晃さん(32)。

ソロ活動をしながら、生まれ育った地域を盛り上げていこうとしている。

太鼓部でも活動した。卒業後の人生を決める時には就職も考えたが、「好きなことをやらなければ後悔する」とプロ和太鼓奏者の道を歩み始めた。

入団した志多らでの生活は朝から晩まで和太鼓だけ。修行のような毎日だったという。全国各地での公演や海外遠征も経験し、大太鼓のソロパフォーマンスも任されるようになった。そうした12年間の活動を通して、相手を思いやる心の大切さや、武道にも通じる和太鼓の精神性を学んできたという。

志多らで地域に根ざした活動をしてきたこともあり、地元に戻った青木さんは豊松町や松平地区を盛り上げたい気持ちが強くなった。地元を離れていたからこそ、地域住民の気持ちも、Uターン移住者の気持ちも分かる。「それが僕の強みです。両者の仲介役をやっていたい」と自分の役割も定まっている。

若者が外へ出て行ってしまいう現状をみて、青木さんは「地域に住み続けながら仕事を求められるような仕組みを創っていききたい」とも考えている。そのために、手に職を持った組織を立ち上げたい構想も。人それぞれ得意分野が違うのでより多くの人とつながっていきたいそうだ。

青木さんの得意分野はもちろん和太鼓。和太鼓の世界の入口をもっと広げて、子ども達が自然と入って来られる環境づくりもしたいという。豊松小学校が2年後に150周年を迎える。そこを目標に子どももの和太鼓チームを立ち上げたい思いもあるそうだ。

